

グリム童話とその受容

2019 12/7 sat. 12:10-18:00

会場: 梅花女子大学 D301 教室

大阪府茨木市宿久庄 2-19-5 ☎072-643-6221 <https://www.baika.ac.jp/access>



藍長廣/絵 高橋五山/編 共同書館 1940



杉田豊/絵 武蔵悦子/文 世界文化社 1984



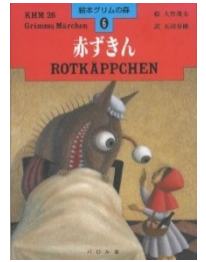
井川廣子/絵 こわたまみ/文 フレーベル館 2001



Walter Crane, *Little Red Riding Hood*. London 1875



BRÜDER GRIMM
GESELLSCHAFT



大竹俊夫/絵 天沼樹/文 パルコ舎 2005



杉浦さやか/絵・文 白泉社 2009



北見崇明/絵 那須真幸/文 岩崎書店 2012

ドイツ・グリム兄弟協会と共催でシンポジウムを開催します。最初に「ヘンゼルとグレーテル」などが明治・大正・昭和・平成と時代によるジェンダー観などを読み取ろうとする催しです。当日は、**梅花女子**

11:30 受付開始

12:00-12:10 開会の挨拶

長澤修一 (梅花女子大学学長)

12:10-13:00 基調講演

Fairy Tales of the Brothers Grimm and their Worldwide Reception
ベルンハルト・ラウアー (グリム兄弟協会)

13:00-13:50 基調講演

日本における「赤ずきん」の受容
野口芳子 (梅花女子大学大学院)

13:50-15:00 ランチ ビュッフェ (参加者全員無料招待!!)

ラウアー博士が英語で講演し、その後、グリム童話「赤ずきん」で変遷していく姿を見つつ、そこから日本の社会、教育、子ども観、**大学図書館でグリム兄弟協会所蔵美術品の展示会**も開かれます。

15:00-15:30 招待講演

ドイツの文化遺産—メルヘンや伝説の地を巡る—
金城=ハウプトマン朱美 (富山県立大学)

15:30-16:00 研究発表

日本における「ハーメルンの笛吹き男」の受容
蚊野千尋 (梅花女子大学大学院)

16:00-16:30 研究発表

日本における「ヘンゼルとグレーテル」の受容
小泉直美 (梅花女子大学大学院)

16:30-17:00 質疑応答

17:10-18:00 **ギャラリートーク** ベルンハルト・ラウアー

- 入場無料・要申込(先着順) ■連絡先: 野口芳子 y-noguchi@baika.ac.jp (氏名、所属を明記して申し込んでください)
- 主催: 梅花女子大学・大学院 <https://www.baika.ac.jp> / グリム兄弟協会 www.grimms.de / グリムと民間伝承研究会
- 後援: DAAD(ドイツ学術交流会) / 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館